



# 7月号 保健だより

平成30年7月  
愛媛県立大洲高等学校

## 落雷から身を守ろう！

### ★雷雲の特性★

雷雲（積乱雲、入道雲）は、10分間くらいで急成長し、時速5～40kmという高速で移動します。そのため、遠くで雷の音が聞こえたり稲光が見えたりしたときは、すぐに落雷の危険があると考えて、安全な場所に避難する必要があります。

### ★こんなときは雷雲が近づいている！★

- 真っ黒な雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷が鳴る音が聞こえたり、稲光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨が降り出す。

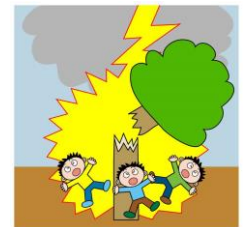


### ★落雷による災害★

雷は、金属の有無に関係なく、その場所で一番高い物に落ちます。また、人体そのものが電気を通しやすいので、金属を身に付けているかどうかとは無関係に、落雷を受ける可能性があります。屋外でスポーツをする場合など広大なグラウンドの中では、人間が一番落雷を受けやすいので大変危険です。

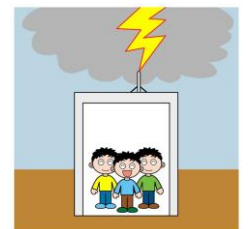
### ★側撃雷★

高い木や電柱などに雷が落ちた後、電気が地面に流れて行く途中で近くにいる人の体を通る、側撃雷という現象があります。雨やどりをするために高い木の下などにいると、側撃雷を受けることが考えられます。



### ★雷に遭遇したときは★

雷雲が近付いてきたり、雷に遭遇したりしたときは、できるだけ早く屋内や車内などの安全な場所に避難しましょう。その際、屋内の場合は、電話線や電線とつながった電話機や電気器具、水道の蛇口などに触れていると、傷害を受けることがあるので気を付けましょう。電気器具や壁などから1m以上離れると安全だと言われています。また、車を運転中に落雷を受けると大変危険なので、安全な場所に停車してエンジンを切り、雷が鳴り止むのを待ちましょう。車内では、窓を開けていたり、車内の金属部分に触れたりして感電した事例があるので気を付けましょう。



次のような行動は危険なので、絶対にやめましょう。

- 自転車やバイクで移動する。
- バット、釣り竿、ゴルフクラブなどを振り上げる。
- 傘を差す。



### ★落雷事故の際の応急処置★

落雷による死亡は、大量の電流が一度に流れることにより、そのショックで呼吸や心臓が止まることが原因です。直ちに心肺蘇生法を行えば、救命できる確率が高くなります。